

平成 20 年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会

期日 平成 20 年 11 月 20 日(木)・21 日(金)

開催地 愛知県 名古屋市

出席 為近 純子 渡辺真美子

第 2 分科会 教室環境部会

協議内容 教室等の空気環境の維持・改善について

<発表 1> 教室内二酸化炭素濃度に影響を与える要因について

<発表 2> 教室の空気環境についてーホルムアルデヒド、二酸化窒素、二酸化炭素、ダニアレルゲン

質疑応答

1、換気等について

必ず 2 か所窓を開けないと空気の流通悪い。対角線上に開けること。

窓開けを少しでもしていると二酸化炭素が少ない。

廊下の二酸化炭素濃度が高いと窓開けても効果が無い。教室 4 角を開放している。

授業終了後 3 分間開けると二酸化炭素濃度下がることを生徒に示すことが大切。

高校の定時制ですが、特別教室等は昼間の学生たちが窓開けしていないので、二酸化炭素濃度が 1.5 倍あり、授業終了後換気をしてもらいたい。

高松市では学校の設備遅れのため、換気扇の設置が無い。

名古屋市では空気清浄機必要という意見あり。

高知県では耐震構造工事のため、エアコンを設置したら、窓開けしないため、二酸化炭素濃度高くなり、エアコンを使用している教室は二酸化炭素濃度測るほうが良い。

換気することにより、インフルエンザの予防に良く、寒いが窓開け必要。

主要道路の近くの学校で、エアコン設置しているため、夏の二酸化炭素濃度を注意したい。

オープンスペースの二酸化炭素濃度はどうかという質問に、二酸化炭素濃度は問題ないが、快適性と授業の効率性とは別問題で、うるさかったりして、壁を作ったところもある。

ホルムアルデヒドの発生源を特定することが必要。

2.指導助言

柴田先生

平成 17 年より 3 年ぶりに設置された会である。

豊田先生 検査はポイントを絞ってすること。

法律が変わるので、学校長、養護教諭とのコミュニケーション必要。

子供たちをどれだけ味方につけるか。環境のために良い習慣を身につけさせる検査から何が見えるか。パフォーマンスを外に社会的に。

予算・・・教育委員会、議員に対して